

春日井ウホーチ

春日井市内には毎日たくさんのお出来事が起きています。そんな春日井で起ったことを紹介します。

あらゆる世代の交流や健康づくりを推進するため、毎年8月の第1曜日を「ラジオ体操の日」に制定しました。8月3日(日)には、「ラジオ体操の日」の制定を記念した「ラジオ体操会」が行われ、約800人が参加し、心地よい汗をみんなで流しました。



8月の第1曜日は
「ラジオ体操の日」

その4



危険ドラッグは、
買わない、使わない、
かかわらない

その5

ぜったい絶対に
なくさないといけないね!



8月7日(木)、市長と市内の38の小学校の代表児童が話し合う「市长を囲んでわくわくトーク」が行われました。今回は、6月にオーブンした、総合保健医療センターで開催することになり、「健康新聞を考えよう」をテーマに、話し合いました。

その6

考えました

伊藤市長の感想

それぞれの地域や日頃の生活を感じたこと、思ったことをしっかりと発言してくれて、参考になることがいっぱいありました。これからも、地域や春日井市の行事に積極的に参加して、家族との会話を増やしてほしいと思います。

代表児童から出した意見

○春日井市産のサボテンは栄養があるから給食にもつと出してほしいです。
○「あいさつにっここ週間を作つてほしいです。この期間は人に会つたら知らない人でも「おはようございます」とひと声かけて、みんなが朝から気持ちの良いスタートをきれる取り組みです。
○「3世代で楽しめる」をキーワードに、市の施設で体を動かすための行事を増やしてほしいです。



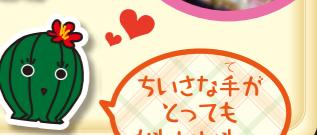
その3

5月16日(金)、自動車の当地ナンバー「春日井ナンバー」の交付が11月17日(月)に決まりました。それを受け、春日井広報大使で漫画家のハロルド石さん(井原慶子)さんにPR活動をじく大使でレーシングドライバーの井手伝っていただいている。

春日井市の人口が31万人を超えた記念すべき31万人目となつたのは柏井町にお住まいの小瀬戸順平さんと蘭さんの次女董ちゃん。3月22日(土)に誕生し、4月3日(木)に父・順平さんが出生届を市役所市民課に提出し、31万人目の市民となりました。

その1

董ちゃんでした



ちいさな手がとってもかわいいわ~



その2

12組13人が
春日井の魅力を
PRします

4月28日(月)に春日井広報大使を任命しました。大使をお願いしたのは春日井市に縁があり、芸術、文化、スポーツなどの分野で活躍をしている12組13人です。大使の皆さんには、書やサボテンなど春日井の魅力を伝える名刺やPRカードを配つて、春日井の魅力を皆さんに広めています。

その4

春日井の魅力を
PRします